

小さな実にも栄養がギュッ！

ミニトマトの出荷が最盛期を迎えます

【5月中旬／碧南市内で収穫風景を紹介します】



J Aあいち中央管内で栽培されているミニトマトの出荷が最盛期を迎えます。当J A管内では、碧南市や安城市、刈谷市で約30軒の生産者が施設（ハウス）で、約230軒の生産者が露地でミニトマトを栽培しています。ほぼ一年を通じて栽培されるミニトマトですが、日照時間も長く気候もよい5月上旬～6月中旬にかけて収穫量が増えてきます。

J Aのファーマーズマーケットには、定番の赤く丸型のもの以外にも、プラム型のミニトマトや黄色のミニトマトなど、生産者こだわりのバラエティに富んだ品種・ブランドのミニトマトが並びます。最近では、高糖度のフルーツトマトも多く出回り、来店者からも好評です。



ミニトマトは大玉のトマトに比べて、カロテンやビタミンC、カリウムなどが豊富で、小さな実にもギュッと栄養が詰まっていると言われています。

<メディア対応日>

■日 時：2023年5月中旬

■集合場所：碧南市農業活性化センターあおいパーク（碧南市江口町3-15-3）集合
※当日は、碧南市内のハウス（車で約10分移動）で収穫風景と生産者インタビュー、J Aあいち中央碧南あおいパーク産直で売り場を撮影いただけます。



（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、山村、杉浦）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3485／E-mail：kouhou@jaac.or.jp